

宮田 亮平(美術学部鍛金)

「自分と「いるか」」

大海原を思い描いてみてください。そこに自分と「いるか」だけが存在しているとしたら…。

以前、ドイツ留学をしている時に「いるか」に出会い「シュプリングェン」というドイツ語を覚えました。このシュプリングェンの響きは、日本語よりも遙かに「いるか」らしく思うのですが、皆さんはどう思いますか。シュプリングェンの豊かな伸び具合と躍動感。日常では冷たいイメージの金属との融合をわたくしなりにイメージしました。一番肝心なのがシュプリングェンの表情と身体にある模様です。模様についてはわたくしが優しさを込めて描いておりますが、表情についてはやさしさ、たくましさ、愛らしさ、沢山の表情の中から観た方々の想像で加えていただきたいと思っております。

さて、そこに自分と「いるか」だけが存在しているとしたら…哺乳類の仲間として互いに理解を求め合うでしょう。言葉を遣わずとも、表情を見て通じ合えたらどんなにか素晴らしいことだろう、そう願っております。

(2002年11月 教官アーカイヴ展に寄せて)